

“基準範囲”に関する提言

日本臨床検査医学会理事会

基準値、基準範囲、臨床判断値などの用語が混同して使用されている現状を見直すために、「基準範囲」に関わる用語についての検討ワーキンググループで検討した報告書を元に理事会で審議した結果、以下の方針を提言する。

1. 広義で使用されている「基準値」という用語は、このまま使用を容認する。
ただし、学術的な用語ではない「正常値」や「正常範囲」などの「正常」という漠然として定義ができない用語は使用しないように啓発する。
2. 「狭義の基準値」という用語は廃止する。
基準範囲を設定する過程で使用される基準個体の値を示す「基準値」は1で示した広義で使用される「基準値」と混乱の元になるため、「基準個体値」と訳すことにする。
3. 「基準範囲」という用語は変更せず、そのまま使用することとする。ただし、臨床判断値やカットオフ値と混同されたり、主観的で科学的ではないものと誤解されたりすることのないようにしてもらいたい。臨床検査医学会からも、定義を理解されて適切に使用されるよう医療業界や一般市民に対して啓発していく。

参考：「基準範囲」に関わる用語についての検討ワーキンググループの報告書(2019.2.8)